

エネルギー貯蔵物質

ちょぞうぶっしつ

■ 用語解説 ■

電力エネルギー貯蔵設備としては、各種バッテリー、キャパシタ、揚水式発電所などが実用に供されている。また、超電導フライホイール、超伝導磁気エネルギー貯蔵 (SMES: Superconducting Magnetic Energy Storage) 装置などが、検討されている。これらのうちバッテリー、キャパシタは素材の電気的あるいは化学的特性によってエネルギーを貯蔵するもので、これらに使用される材料がエネルギー貯蔵物質である。今後ナノ構造の比表面積の大きな電極材料の開発によって、エネルギー貯蔵量の飛躍的な増加が期待される。